

河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業 総合シート

事業名称	河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業
事業の目標・概要	企業版ふるさと納税を活用した事業を実施することにより、河内長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を図る。 1. サッカーチームと連携したまちの魅力向上事業 【総合戦略該当箇所および記載内容】 基本目標4:時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。 施策5:地域で支えあえる環境づくり 主な取り組み内容:南花台スマートエイジング・シティ団地再生モデル事業 2. 林道整備事業 【総合戦略該当箇所および記載内容】 基本目標1:安定した雇用を創出する。 施策2:農林業の振興 主な取り組み内容:林道の基盤整備

【数値目標及び実績】

項目		事業開始前	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①関連 市に愛着と誇りを感じ ている市民の割合	目標	—	51	52	53
	実績	38	36	52	53
①関連 市に住み続けたいと感 じている市民の割合	目標	—	56	57	58
	実績	41	42	57	58
①関連 社会動態の転入者／ 転出者の率	目標	—	90	92	94
	実績	81	88	92	94
②関連 林業従事者数	目標	—	48	48	48
	実績	29	29	48	48
令和3年度の指標の状況及び事業への 反映の考え方		「まち・ひと・しごと創生寄附活用事業」は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえて作成する計画(地域再生計画)に位置付ける必要があります。 本事業は、同戦略内の事業として位置付けており、KPIも当該項目内の数値目標を準用しています。 ただし、当該数値目標は総合戦略の目標として非常に大きな視点から設定されているほか、社会情勢等によって大きく変動する指標でもあるため、評価シートでは当該数値目標に加え、参考指標を設定し、評価を実施しています。			

※令和4年度以降は見込み

河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業 評価シート

事業名称	河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業	
要素事業①	サッカーチームと連携したまちの魅力向上事業	担当課 総合政策部政策企画課

	実施内容	参考指標	事業費(千円)
令和3年度実施事業	(1)事業概要 市内南花台地区では、少子高齢化の進む開発団地の再生モデル構築として、「南花台スマートエイジング・シティ 団地再生モデル事業」に取り組んでいる。 この一環として、同地区内でUR都市機構が進める集約型団地再生事業により生まれる跡地に女子サッカーチームの本拠地を誘致し、チームと連携することによる地域の活性化を図る。 (2)令和3年度実施事項 UR団地集約事業跡地一体整備に係る構想構想の策定準備として、サッカースタジアムの基本構想案の策定のため、他の交付金も活用しつつ、UR団地集約事業跡地に関する住民向け説明会やワークショップ、地域住民向けのアンケートを実施。それらの地域のアンケート結果を踏まえ、スタジアムの基本構想や配置検討案、大阪府等関係各所との協議を実施。 ※ただし、寄附金の充当事業であるサッカースタジアム建設については、設計の開始が令和5年度であるため、企業版ふるさと納税の充当も令和5年度より実施予定である。 令和3年度受領の寄附金は、市の基金(河内長野市ふるさとづくり基金)へ全額積み立てを行った。 (3)企業版ふるさと納税受領額 1億3,880千円(19社)	○サッカースタジアム整備と地域内公園のあり方に関するアンケート調査 ・アンケート実施数:1,000件 ・回答:459件 ○サッカーチームと連携したまちづくりに関する説明会 ・令和3年7月25日実施 ・参加者数:90名	0
	(合計)		0

	【令和3年度評価】	【令和3年度の評価内容】
担当者評価	②相当程度効果があった	・企業と連携することにより、市の実質負担なくハード整備が実施可能となる。 ・企業版ふるさと納税を活用することで、多くの企業と接点生まれ、今後のプロジェクトにおける参画が期待できる。 ・企業版ふるさと納税を活用した取り組みとして注目度が高く、事業自体の周知に貢献している。 ※令和5年度までは、寄附金の事業費への充当(サッカースタジアム建設)は行われないことから、左記評価は、サッカースタジアム建設についてではなく、「企業版ふるさと納税の活用」についての効果を記載しています。

評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③「効果があった」、「④効果がなかった」

	【今後の課題・取り組みなど】
改善	寄附金充当業務としては令和4年度以降の実施となる。 事業の効果を最大限に発揮できるよう、専門家はもちろん地域住民の意見も取り入れながら、単なる施設整備にとどまらない、新たな地域交流が生まれる場となるよう進めていく。 また、寄附企業との協議も行い、企業との関係性が寄附のみにとどまらないよう、公民連携に繋げていく。

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	取組事業が事業の目標・KPI達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	

河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業 評価シート

事業名称	河内長野市まち・ひと・しごと創生寄附活用事業	
要素事業②	林道整備事業	担当課 環境経済部農林課

	実施内容	参考指標	事業費(千円)
令和3年度実施事業	(1)事業概要 市管理の基幹林道であり、地区林業の基幹であるとともに、緊急輸送路としての役割も担っている林道千石谷線外1線の整備を実施した。 (2)背景 ・ 寄附を申し出た事業者(以下、「同社」)より、森林の保全、特に林道等に関することへの活用意向が聞かれた。 ・ 地方版総合戦略の基本目標1「安定した雇用を創出する」の施策2「農林業の振興」において、「林道の基盤」が規定されていることから、寄附金を充当する要素事業の内容として林道整備事業を選定し、事業費の一部に充当した。 (3)企業版ふるさと納税受領額 10万円(1社)	令和3年度実施事項 ・施工延長 L=340m ・アスファルト舗装工 A=609.9㎡ ・コンクリート路面工 A=495.7㎡	8,238
		(合計)	8,238

	【令和3年度評価】	【令和3年度の評価内容】
担当者評価	②相当程度効果があった	○当初予算上の千石谷舗装予定延長は70mであったところ、寄附金の活用により2.5mの量的充実が図れた。 ○寄附事業者は、林業振興に意識の高い事業者であり、同社と協議し、思いを反映した寄附金の活用を行ったことで、同社との継続的な連携にも繋がっている ・令和4年度も、同社より同様の趣旨・金額で寄附を受け入れ ・附属機関「かわちながの森林プラン推進協議会」に同社代表が委員に就任(令和4年度より) ・同社が策定している森林経営計画をさらに拡大した。

評価事業の目標・KPI達成に「①非常に効果的であった」、「②相当程度効果があった」、「③効果があつた」、「④効果がなかった」

	【今後の課題・取組みなど】
改善	企業版ふるさと納税がさらに広がるよう、本実績を市内外にアピールする必要がある。 さらに、企業との関係性が寄附のみにとどまらないよう、公民連携に繋げていく。

	【委員会評価】 下記から選択して下さい。	【評価等に対する意見】
委員会評価	取組事業が事業の目標・KPI達成するために ①妥当である ②概ね妥当である ③検討を要する	